

『ずっと暮らしたいまちを考える 豊田市長との意見交換会』について

－愛知工業大学開催－

1 趣旨

豊田市内に立地する大学及び高等専門学校に通う学生と豊田市長の意見交換を通じて、若者目線の地域の魅力やまちづくりのアイデアなどの意見を聞き、次期総合計画の策定に活用していく。

2 実施概要

■開催日時

令和5年12月11日（月） 午後1時～2時30分

■参加者

愛知工業大学に通う都市計画を学ぶ学生17名（3～4年生）

前半の豊田市の特徴や市政についての市長講演は、学生80人程度が聴講

■テーマ

- ①どんなまちに住みたい？－理想の住環境、みんなが暮らしたいまちについて－
- ②どんな「つながり」を求めている？－まちのなかでチャレンジしてみたいこと－
- ③どんなライフプラン・働き方が理想？－将来の暮らし方や働き方について－

3 主な意見 ※括弧は、主な意見を内容ごとにまとめたものです。

（住環境）

- ・豊田市在住であり、緑豊かで、車で中心部にも行けるので便利と感じている。これからもずっと住みたいと思っている。

（まちづくり）

- ・豊田市を研究テーマとしており、都市と山村がある特性を生かし、林業と連携したもののづくりでまちの活性化ができないか、提案したいと思っている。
- ・駅東口まちなか広場（旧：とよしば）での活動に関わる中で、駄菓子屋をやり、子どもたちに好評だった。イベント周知に工夫が必要と感じた。
- ・住民参加型の観光まちづくりを学び、必要性を感じている。自分も何か参画したいと思っている。
- ・建築学科で学ぶ中で、都心の再開発に関わる機会を得た。時代の変化も捉えつつ、興味を持って見ていきたい。
- ・防災の取組を自分でも行っている。自治区単位での防災をしっかりやりたい。

（子育て）

- ・愛工大の活動で豊田市のこどもに模型展示などものづくりを教えている。もっとこどもが参加できる機会が増えるとよい。
- ・日本は子育てがしにくいと聞き、気になっている。豊田市の子育てへの取組はどうか。

4 まとめ

- ・建築学科で都市計画を学ぶ学生が中心であり、都心の再開発におけるにぎわいづくりへの提案など、大学での学びをまちづくりに生かしたいという意見が見られた。
- ・中心市街地の広場などで、公共空間の運営に関わる活動や、市内でものづくりをこどもに教える活動をしている学生も多く、具体の活動を通じた実感や課題意識についての発言が見られた。
- ・「日本は子育てがしにくい」という報道等に漠然とした不安を感じる学生の意見もあった。

5 当日の様子

